

ツッカーハウス瓦葺き替え工事を終えて

幼少期の頃、近江療養院（ツッカーハウス）で、診察を受け癒された記憶があります。遠い記憶を思い出しながら、今回のツッカーハウス2階大屋根瓦葺き替え工事を見守りました。建物の朽ちる原因はほとんどが雨漏りにより起こります。100年経過したこの建物が長く勇姿を保てたのは大きな外圧（地震・台風等）や、瓦からの雨漏れが少なかったからです。しかし既設の瓦は経年の風雨で劣化し、再使用出来ない状態でした。その為に市販品のプレスセメント瓦を使用しましたのが工事の短縮となりました。新しい瓦葺きの下地には防水シートを二重張りにする工法を採用し、万が一の割れにも対応するように施工をし、創建当時の写真の姿に復元しました。

当初は瓦の葺き替え工事と多少の補修補強は必要と思っておりましたが、既設の瓦をめくればひどい傷みで予想外の補強に時間と労力を要しました。

「夢瓦メッセージ募金」で市民の皆様からの厚情を頂きました瓦は、全て葺かせていただきました。今後の長い年月を見守ってくれると思います。ご支援を下された皆様、安全に困難な施工をしていただいた施工業者の方々の協力の賜物と感謝いたします。

今後は建物の躯体の耐震補強工事・内装工事・電気設備・給排水設備・自火報設備を完了しなければなりません。青空の下で輝くツッカーハウスの中で皆様が一日でも早く、この建物を利活用していただく日が来ることを楽しみに努力いたします。御協力をよろしくお願い申し上げます。

田中 浩一



ツッカーハウスの保存活動の歴史と展望について

当会は2010年8月に活動が始まった『ツッカーハウス・大王松を守る会』を発展させ新たに『ツッカーハウス保存・再生プロジェクト実行委員会』が誕生し、その後の募金計画や改修工事計画等を具体的に検討する事になりました。2012年7月には『NPO法人ヴォーリズ遺産を守る市民の会』と改称し、2017年10月には滋賀県より《認定NPO法人》の資格を得て今日に至っております。認定を取得した事により、公益性や社会的信用も高まり私たちの活動も更に認知される事を期待しております。これまでの改修工事経過は、

- ◆第1期工事：中央大屋根瓦葺き替え工事
- ◆第2期工事：玄関ポーチ屋根修繕・外壁窓周り塗裝修繕・南面瓦棒屋根塗裝修繕
- ◆第3期工事：元院長室内修繕工事（見学頂ける様になりました）
- ◆第4期工事：五葉館改修工事（見学頂ける様になりました）
- ◆第5期工事：東西両翼の屋根葺き替え工事（2018年10月竣工）

と、着々と保存・再生の歩みは進んできております。多額の寄付を頂いた方々、そして瓦募金や賛助会費をご提供頂いた皆様方のご協力の賜物と感謝申し上げます。

これから愈々耐震補強の工事に取り掛かるに当たり、多額の工事費が見込まれます。従来迄《夢瓦募金》としてお願いしてきましたが、これからは新たに《夢レターメッセージ募金》と名称を変え、お志を募りたいと存じます。どうぞ尚一層のご支援をお願い申し上げます。

村西 耕爾

ツッカーハウス 夢レターメッセージ募金 「耐震対策、室内復元」



William Merrell Vories
1880 ~ 1964

あしあと(波紋の輪)支援プロジェクト

あなたのメッセージが 夢が
ツッカーハウスに残ります。

認定NPO法人 ヴォーリズ遺産を守る市民の会